

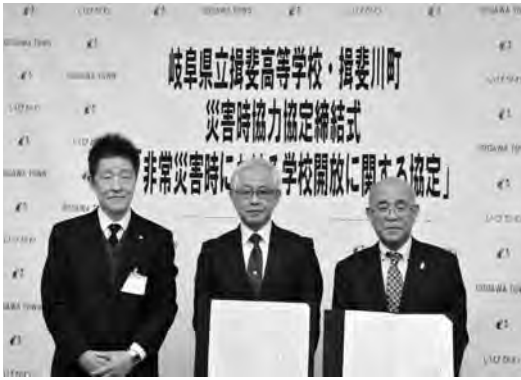
揖斐高等学校と揖斐川町
が災害時協力協定を締結

3月21日(火)、県立揖斐高等学校と揖斐川町の間で「非常災害時における学校開放に関する協定」を締結しました。

この日、結ばれた協定によって、揖斐川町において、台風、豪雨、洪水、地震、火災等大規模な自然災害が発生し、または発生が予測される場合において、揖斐高等学校の施設の一部を地域住民の皆さんに避難所として利用していただけるようになりました。

締結式で富田町長は「今回の協定締結により、地域住民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりにつながるものになりました。」

今後、揖斐高等学校と揖斐川町が平時から災害防止の方策について情報を交換し、連携を取り合い、防災体制の整備充実を図っていききたい」とあいさつしました。



▲揖斐高等学校鈴木校長（中央）、富田町長（右）

松田邦紀大使による講演会
揖斐郡の農産物を海外へ

3月20日(月・祝)に、地域交流センター「はなもも」で、在香^{マカオ}港総領事館の大使兼総領事である松田邦紀氏が「グローバル時代における日本の地方経済」をテーマに講演しました。

この講演会は、揖斐郡3町とJAいび川によって、揖斐郡の農産物を海外輸出し、産業振興や地域活性化に繋げることを目的として行われました。

松田氏は「グローバル時代には、インターネットなどを駆使して、個人が世界とつながることができる」と語りました。自身が勤務する香港の市場や、日本への観光客の現状についても触れながら、その場所に泊まらないと体験できない観光プランの提案など、海外からの観光客を視野に入れた取組を推進することで、揖斐郡の地域活性化が期待できるとエールを送りました。



▲香港と日本の関係について話す松田大使

やまと幼児園と
きたがた幼児園閉園式

3月25日(土)、やまと幼児園ときたがた幼児園の閉園式が行われました。両幼児園は、園舎の老朽化や入園する園児の減少に伴って統合が決まり、4月からは「やまと・きたがた幼児園」としてスタートします。

閉園式では、スクリーンに写真を写して思い出を振り返ったり、園児たちが歌を歌ったりするなどセレモニーを行いました。



消防辞令交付式
消防団員、機能別消防団員
女性防火クラブ員

3月26日(日)、揖斐川町消防辞令交付式が、地域交流センター「はなもも」で行われました。

115人が新しく消防団に加わり、代表者が野原消防団長から辞令を受け取りました。

また、今年度は62人が退団し、50人が昇任しました。式典の中で、長年消防団員として活躍された方へ日本消防協会長表彰の披露が行われました。表彰を受けられたのは、次の皆さんです。(敬称略)

- 日本消防協会長表彰
- 勲績章 団長 野原 徹
- 分団長 白川 春樹
- 分団長 白川 春樹
- 分団長 白川 春樹
- 精績章 分団長 白川 春樹

また式後には、消防ポンプ自動車配置式が行われ、坂下分団に新しい消防ポンプ自動車配置されました。



▲新入団員による宣誓

県立森林文化アカデミーの学生が研究成果を報告

3月23日(木)、県立森林文化アカデミーの学生が研究成果を富田町長に報告しました。

昨年3月に町と森林文化アカデミーは、森林活用などに関する連携協定を結び、町内で協力して「森のようちえん」などの活動を行っています。

今回は、谷汲地区に住む4人の方々から聞いた昔の暮らしの話を記した「聞き書き作品集」と、春日地区の民具を活用し、さまざまな世代に民具の魅力を知ってもらうための方策をまとめた「民具活用のための基礎研究」の報告が行われました。

どちらの研究も実際にその地区に住む人たちの生活や暮らしの中の魅力を再発見するきっかけとなるものでした。

報告を受けた富田町長は「研究成果を観光客誘致などに活用できないか、考えていきたい」と話しました。



▲町長に報告書を渡す学生

全国土地改良功労者等表彰受賞

3月27日(月)に全国土地改良功労者等表彰を受賞した瀬古和世さんが町長に受賞報告をしました。

■全国土地改良功労者等表彰

瀬古和世さん(志津山)

この表彰は、土地改良事業の推進に尽くし、地域農業の発展に寄与した人に贈られるもので、瀬古さんは、揖斐川左岸用水土地改良区の理事長を務め、長年にわたって、農業を行ううえで欠かせない用水路の整備などに尽力してきたことが評価されて今回の受賞となりました。

受賞おめでとうございます。



▲受賞した瀬古和世さん

養基小児童がカワニナを放流
〜ホタルの成長を願って〜

3月13日(月)、養基小学校の5年生の児童が、ホタルの餌となるカワニナを胫永地区の用水路に放流しました。

小学校の総合的な学習の時間で行われたこの取り組みは、水路などの長寿命化に取り組んでいる胫永農地・水保全管理事業のメンバーの協力で行われています。

この日は、44人の児童が参加し、約150キロのカワニナを放流しました。

昨年度は放流を行った場所の近くでホタルが多く観測されており、今年もたくさんホタルが見られることを期待しています。ホタルは6月上旬が見頃となる予定です。



▲バケツ一杯のカワニナを用水路へ放つ児童

久瀬振興事務所とJAいび川久瀬支店の改築安全祈願祭

3月30日(木)に東津汲地内で、久瀬振興事務所とJAいび川久瀬支店の改築工事の安全祈願祭が行われました。

昭和49年建設の久瀬振興事務所と昭和41年建設のJAいび川久瀬支店は、建物の老朽化や耐震面などの課題から改築の必要がありました。

今回の改築により、両施設は住民の皆さんが利用しやすくなるよう、振興事務所とJAいび川久瀬支店が一体となった鉄骨造平屋建ての施設となります。



▲刈初めの儀を行う富田町長とJAいび川堀尾組合長